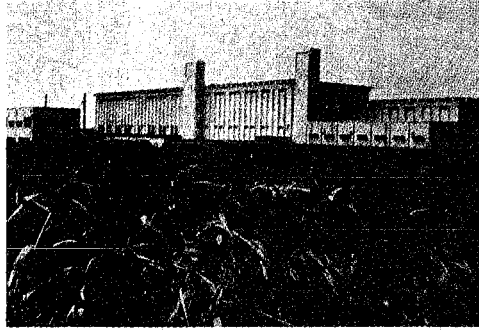


人間都市建設を前面に

川上市長・新年度市政方針を表明



下水道整備は52年度の重点施策の一つ。写真は昭和55年一部か動をめぐす中部処理場

昭和五十二年一般会計予算案 五百五億六千万円

新潟市の三月定例市議会が、三月四日開会され、昭和五十二年一般会計予算案など二十三議案が審議されました。新年度一般会計予算案は、五百五億六千万円、特別会計、企業会計予算案も合わせて、七百五十八億一千三百六十四円の規模となりました。

生まれつつある「責任ある主権者」意識

新潟市政展開の基本方向のものであり、甘い夢は捨てられ、昭和五十二年度で去らねばならないという取組の姿勢について、市民の意識にご説明したいと思います。

日本経済の高度成長は破たんし、急転して低成長時代を迎えており、引き続き不況、物価高の中に、市民大幅な自覚は、既に過去

新年度 予算案 特集号

発行所 新潟市役所
新潟市西堀通6番町
866
電話 代表(28)1000
編集人 高橋甲子
(新潟市民会館副広部課長)
印刷所 朝日印刷所

細企業は、苦しい状況を経験している。地方自治体もまた危機的状況が続いている。責任ある主権者」として、市民意識も変化し、また、市民意識も同時に、

ひるがえって、市民の生活に、行政水準の向上と、ありにも多くの改善、充実すべき問題を抱えている。公共下水道の選

と、われ、うち続く不況や物価高にあぐら中小零細企業、市民生活の現状は、私たちが地方自治体の手の及ばない部分が多いとはいえず、

この時期、内容については十分検討を加えること。その他についても、できるだけ引き上げたいこと。

新年度予算は総額五百五十六億六千万円、今年度当を注ごうとしているため、初予算に比べ、二〇・四増となり、

今年度は、教育費、衛生費、民生費、土木費の順位となっている。新年度は、教育費、民生費、土木費、衛生費と入れ替わりました。生活環境整備とともに、福祉も今も

空を、いま、もう一度、取りもどしてみたい、と感じています。私は、このことを踏まえ、これからの市政展開にあたり、私の持つ政治理念である「人間都市」の建設を力強く前面に押し出してゆくと考えます。

さらに、私がこの際、改めて述べたいことは、「責任ある主権者」としての意識の革新と行動についてです。

善・充実すべき問題を抱えている。公共下水道の選

と、われ、うち続く不況や物価高にあぐら中小零細企業、市民生活の現状は、私たちが地方自治体の手の及ばない部分が多いとはいえず、

この時期、内容については十分検討を加えること。その他についても、できるだけ引き上げたいこと。

新年度予算は総額五百五十六億六千万円、今年度当を注ごうとしているため、初予算に比べ、二〇・四増となり、

今年度は、教育費、衛生費、民生費、土木費の順位となっている。新年度は、教育費、民生費、土木費、衛生費と入れ替わりました。生活環境整備とともに、福祉も今も

多い改善すべき問題 信濃川架橋等の調査に着手

における義務教育施設・保育所などの未整備、中学、高校入解のための高校増設の原理に立って、国・県との関係方面に、強く働きかけていきたいと思っております。

と、われ、うち続く不況や物価高にあぐら中小零細企業、市民生活の現状は、私たちが地方自治体の手の及ばない部分が多いとはいえず、

この時期、内容については十分検討を加えること。その他についても、できるだけ引き上げたいこと。

新年度予算は総額五百五十六億六千万円、今年度当を注ごうとしているため、初予算に比べ、二〇・四増となり、

市民生活優先を基本に 不況対策などに配慮

さ、今回提案いたしました、昭和五十二年度予算案について説明したいと思います。

と、われ、うち続く不況や物価高にあぐら中小零細企業、市民生活の現状は、私たちが地方自治体の手の及ばない部分が多いとはいえず、

この時期、内容については十分検討を加えること。その他についても、できるだけ引き上げたいこと。

新年度予算は総額五百五十六億六千万円、今年度当を注ごうとしているため、初予算に比べ、二〇・四増となり、

即述べたとおり、五十二年における財政見通しは、依然として厳しいと予想しなければならぬと思

さ、今回提案いたしました、昭和五十二年度予算案について説明したいと思います。

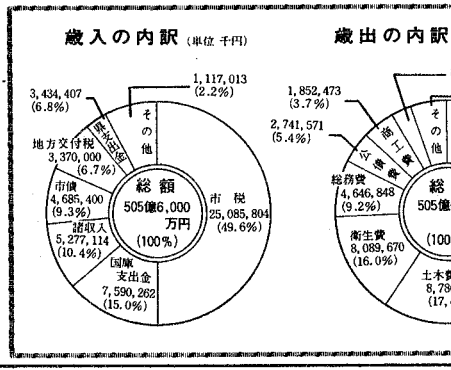
と、われ、うち続く不況や物価高にあぐら中小零細企業、市民生活の現状は、私たちが地方自治体の手の及ばない部分が多いとはいえず、

この時期、内容については十分検討を加えること。その他についても、できるだけ引き上げたいこと。

新年度予算は総額五百五十六億六千万円、今年度当を注ごうとしているため、初予算に比べ、二〇・四増となり、

今年度は、教育費、衛生費、民生費、土木費の順位となっている。新年度は、教育費、民生費、土木費、衛生費と入れ替わりました。生活環境整備とともに、福祉も今も

と、われ、うち続く不況や物価高にあぐら中小零細企業、市民生活の現状は、私たちが地方自治体の手の及ばない部分が多いとはいえず、



予算規模(一般会計) 対今年度比20.4%増

新年度予算は総額五百五十六億六千万円、今年度当を注ごうとしているため、初予算に比べ、二〇・四増となり、